

報道関係者各位

ご案内

## 日本受精着床学会のワークショップで患者が座長を担当します

### 日本初！ 不妊の学会に患者 200 名の招待を実現！

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network = ファイン)

<http://j-fine.jp/>

#### 「患者の心」を視野に入れて展開するワークショップに、不妊症患者 200 名を招待

不妊症患者をはじめ不妊で悩む人をサポートする、体験者によるセルフサポートグループ「NPO 法人 Fine (ファイン)」の理事長・松本亜樹子は、このたび、広島 HART クリニック理事長・高橋克彦院長とともに、日本受精着床学会のワークショップで座長を務めることになりました。

これは、7月28日に開催される第28回日本受精着床学会総会・学術講演会でのワークショップ「妊娠・治療継続が難しい患者へのアプローチ(対応)」で、発表者は京野廣一氏(医師・京野アートクリニック理事長)をはじめ、看護師、受精卵を扱う胚培養士、生殖心理カウンセラー、受付事務の5名(詳しくは下記1を参照)。これらの方々は、不妊治療現場において、医学面や精神面など多方面から患者を支える「患者のメインサポーター」といえる存在です。

通常、医療の学会では医療者向けの「医療技術」の発表や講演が中心ですが、このワークショップは、患者を座長として、多様な職種のクリニックスタッフが発表を行ない「患者の心」まで視野に入れて展開する、新しい志向のセッションです。また、同学会では初の試みとして、会場に200名の不妊症患者を招待！当日は、会場の参加者と発表者との意見交換も予定されています。

この「患者招待」のアイデアは、松本がワークショップの企画に携わる中で浮かび上がり、実現に至りました。自身も不妊治療経験がある松本は、今回の患者招待について「不妊症患者は、子どもを望むがなかなか妊娠・出産ができない、という状況の中で、精神的なストレスを抱えがちです。このワークショップに参加することで、私たち患者にはこんなに多くのサポーターがいるのだ、ということを実感し、心細さ解消の一助にしてほしいと思います」と語っています。

Fine はこれからも、不妊で悩む人たちと、医療者をはじめ不妊の人々を支えるサポーターとの橋渡しの活動を続けていきます。

#### 日本受精着床学会の開催概要

学会名：第28回日本受精着床学会総会・学術講演会

日時：2010年7月28日(水)・29日(木) \*Fine 松本が座長を務めるワークショップは下記参照

会場：パシフィコ横浜

日本受精着床学会ウェブサイト <http://jsfi27.umin.ne.jp/>

患者招待についての参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/event/jsfi2010.html>

ワークショップ「妊娠・治療継続が難しい患者へのアプローチ(対応)」7月28日15時~16時30分

発表者： 1

京野廣一氏(医師・京野アートクリニック 理事長)

浅野明恵氏(看護師・神谷レディースクリニック 看護師長)

佐藤節子氏(胚培養士・横田マタニティーホスピタル)

平山史朗氏(生殖心理カウンセラー・東京 HART クリニック)

門田貴子氏(受付事務・岡山二人クリニック)

セッション座長：高橋克彦氏(広島 HART クリニック 院長) / 松本亜樹子(NPO 法人 Fine)

## NPO 法人 Fine これからの活動予定 (2010 年 7 月 1 日現在)

- ・7月28日(水) 第28回日本受精着床学会総会・学術講演会に参加 パシフィコ横浜(横浜市)
- ・7月31日(土) カウンセリング公開講座開催 古石場文化センター(江東区)  
カウンセリング公開講座他、Fineの活動についてのお問い合わせ:E-mail : finekouhou@j-fine.jp  
(カウンセリング公開講座会場での参加者への直接取材は、原則としてご遠慮いただいております)
- ・2011年1月~3月『Fine祭り 全国おしゃべり会 special』(仮称)開催
- ・その他、各種講演会、学会にて多数発表

## NPO 法人 Fine これまでの活動実績 (抜粋)

### **日本初! 不妊ピア・カウンセラー養成講座の運営**

日本で初めて、不妊に特化したピア・カウンセラーを養成(2010年4月より第六期開講中)  
参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/counseling/2010/piacouns.htm>

### **日本初! 不妊当事者団体として、国会請願を実施!**

不妊当事者団体として初めて、2007年10~11月に、不妊治療に関するすべての薬剤と検査に対する保険適用を求めて国会請願を実施! 集まった署名は約15,000、34名の国会議員にご協力いただきました。2009年には請願項目を改め、「助成金拡大」と「不妊治療の保険適用範囲の拡大」を掲げて、第2回目の国会請願を実施。集まった署名数約13,000、協力議員38名。2010年5月、第3回目を実施、集まった署名は約16,500、32名の国会議員にご協力いただきました。

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/shomei/shomei.html>

### **『Fine祭り』を2年連続で開催**

2008年11月2日、東京ウィメンズプラザにて『Fine祭り2008 ひとりじゃないよ!不妊』開催。入場者約500名。

2009年11月3日、東京・日経ホールにて『Fine祭り2009 そこが知りたい!不妊』を開催。入場者数約550名

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/matsuri/2009/matsuri.html>

### **不妊に関するさまざまな調査を実施**

2009年「不妊治療施設とのコミュニケーションアンケート」を実施

2010年「不妊治療の経済的負担に関するアンケート」を実施(回答者数/1,111名)

参考ウェブサイト <http://j-fine.jp/top/anke/keizai-anke.html>

### **各種要望書の提出**

これまでに、厚生労働省に「新薬認可の要望書」「保険適用の効能追加の要望書」「自己注射の要望書」を提出。すべての要望書が承認されました!

2009年「黄体ホルモン補充製剤プロゲステロン膣座薬の承認要望書」を提出

参考ウェブサイト : <http://j-fine.jp/yobo/pro.html>

### **カウンセリング事業**

専門家によるカウンセリング、ピア・カウンセラーによる電話相談、わかち合いの会などの実施

### **学会・研究会への参加・発表**

2009年 ESHRE(欧州生殖医学会)患者部門にてゲストスピーカーとして発表(オランダ)

2009年 第27回日本受精着床学会総会・学術講演会「生殖医療の質向上に向けて患者からの提言」において患者代表としてスタッフ3名が発表

### **媒体関係(取材や協力)**

朝日新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞・東京新聞・北海道新聞・京都新聞 他

NHK「クローズアップ現代」・日本テレビ系ニュース番組「今日の出来事」・日本テレビG+「医療ルネッサンス」・NHK「@ヒューマン」 他 週刊朝日・赤ちゃんが欲しい・AERA・Domani 他

### **その他**

JISART施設の認定審査に患者代表審査委員として参加(2005年~現在)

~Fine会員は約900名(2010年6月現在) さらにSNSも開設!登録者約750名(2010年6月現在)~

NPO 法人 Fine (ファイン) <http://j-fine.jp/>

〒135-0016 東京都江東区東陽 1-32-4 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606

\* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです

~当リリースについてのお問い合わせ~

E-mail : NPO 法人 Fine 広報窓口 : finekouhou@j-fine.jp